



平成19年2月24日 立山新聞 第6号

発行：立沢里山の会 代表 鈴木 榮
 問い合わせ先：事務担当
 須賀（守谷市役所内 45-111 内線 222）
 立沢里山ホームページ
<http://www3.ocn.ne.jp/tatuzawa>

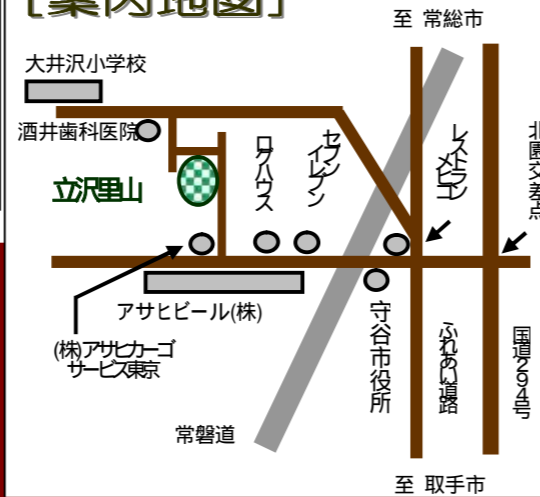
ボランティア募集
 あなたも一緒に楽しんで！

～目次～

- 1 「田んぼの学校」企画コンテスト入賞グループ報告会に出席
- 2 ソバ打ち体験と試食会
- 3 立沢里山の会へのメール
カエルの一口講座
- 4 平成19年度活動計画
- 5 奥村副会長テレビ出演

NHKデジタル放送「まちむら発！情報スタジオ」

【案内地図】



「立沢里山新聞」の記事をお願いします

san-seino@hb.tp1.jp 清野

ア、指導者の養成と発掘
 イ、目標となる環境
 ウ、特定学年だけでなく異年齢との関係
 エ、「田んぼの学校」の地域の繋がり、地域社会、地域の人をどのように巻き込んでいくか

このコメントに基づき、各地区からも活発な意見と議論がなされました。

更に夕方から会場を移して情報交換会と懇親会が行われました。共通なテーマで環境に取り組んでいる仲間としての連帯感もあり、たいへん有意義な情報交換ができました。かなり個性的な人、愉快な人と多彩な面々でした。

我々「立沢里山の会」は開催地関東の地元ということもあり4名が参加して、元気を全国にアピールしてきました。



2 ソバ打ち体験と試食会

年末の12月17日(日)守谷文化会館において、ソバ打ち体験と試食会を行いました。当日は指導役の海老原農業委員会会長の説明を受けた後、4班に別れて作業開始です。

皆悪戦苦闘しながら何とか作業は進みますが、各班によってかなり速度が違います。ほとんどの人は初めての体験のようで、隣の作業を横目にあれこれ思案しながらの作業です。

こねるのにはかなり体力が必要で時々交代しながら、また棒で伸ばすのが結構難しく真剣になります。揃った太さに切るのもかなりの集中力が必要です。

材料はまったく同じなのに、班によって麺の切れ方、太さや、なんと色まで違いが出てきます。ソバ打ちの奥の深さを実感しました。

ゆで上がってから、皆で試食しますが、むしろ各班の微妙に特色のあるいろいろなソバを食べ比べてきてお互いに批判(冷やか?)しながらの和気藹々、愉快的試食会となりました。

帰りには家族へもそれぞれソバの手土産を持参して閉会となりました。

今回の体験を機会に、自宅でも手打ちシバをしたいと密かに決意した参加者もいたようです。



1 「田んぼの学校」企画コンテスト入賞グループ報告会に出席

・開催日時 2007年2月16日(金) 13:00~19:15

・会場 さいたま新都心合同庁舎 2号館

・主催 社団法人農村環境整備センター 「田んぼの学校」支援センター

・開催主旨は「田んぼの学校」の活発な展開に向け、意見・情報交換をするものです。

「田んぼの学校」の活動主体は多岐にわたっており、国及び道府県、市町村、土地改良区の職員や地域のボランティアの皆さんなど様々な所属の方が一堂に会し、意見交換できる機会は大変貴重なものと考えます。

・議事概要

「田んぼ学校」発足8回を迎えた2006年度第8回「田んぼの学校」企画コンテストは、入賞23地区を東西2ブロックに分け、企画部門入賞の「立沢里山の会」は東ブロックで、関東、東北地方から13の入賞地区と共に会議に臨みました。



企画部門8地区、ステップアップ部門2地区、連携プロジェクト部門3地区の順に各団体10分間ずつで発表が行われました。「立沢里山の会」からも今年の取り組み状況を紹介しました。

その後、アドバイザーの森山先生、阿部先生から次の4つの切り口、観点でのコメントがなされました。

3 立沢里山の会へのメール

「里山の会」に2月15日、以下のようなメールが届きましたので紹介します。

「はじめまして今晚は。私は、M市環境保全会議事務局及びS川を愛する会会員で、自然観察会や環境教室等の企画運営や指導をしておりますM市在住のと申します。

昨日仕事で守谷市に行った際、以前新聞で立沢という所に谷津田を再生し地元の小学校と一緒に保全している場所があるというのを思い出し、探して立ち寄りしました。

典型的な谷津地形で、今となっては地形学的に大変希少な素堀りの小川（みーこ）があり、周囲の斜面林も豊かで素敵な場所ですね。井戸は道路からさらに奥（上流）にあるのですか？

少し観察したら、驚いたことにメダカがいました。

放流ではなく天然個体でしょうか。今はどこでも3面張りにしてしまい水戸でも局地的にしか生息していない状況です。

それから道路に近い田んぼの角にアカガエルと思われる卵塊が数個ありました。

アカガエルは生存競争の少ない冬に産卵する習性を持ち、今頃の暖かい日に冬眠を一時休止して産卵するカエルです。名前はポピュラーですが、圃場整備に伴う乾田化や環境破壊により、冬でも水のある産卵場所がなくなったために近年激減しているようです。自宅近くのフィールドではまだ未確認です。

それから、たくさんの野鳥の声を聞きました。

ヨシ原や水辺のハンノキ林、雑木林に照葉樹林と多様な植生があるのでいろいろな野鳥が見られそうですね。

つくばTX開通などで急速に開発が進む守谷市ですが、まだあんな素晴らしい自然が残っているとは驚きで嬉しく思いました。また、自然だけではなく、そこから農業（食料）や社会構造的な問題へと発展的な学びができる理想的なフィールド、またそこで素晴らしい活動をされていると思えました。

田んぼイイですね～ 私も、今年こそはフィールド内でどこか借りて米作りをやりたいと考えています。それでは失礼しました。」



カエルの一口講座「北方系のカエルと南方系のカエル」

オタマジャクシは春の水田とと思っている人が多いと思いますが、上記メールのように冬に産卵するカエルもいるのです。

田んぼとカエルは千年以上前から密接な関係にあります。さすがのカエルも代掻きや田植えの時期は人間や機械が入り込んで居心地が悪いらしく田んぼから出て行きます。

ある種のカエルは冬に産卵して田植え前に大きくなって出ていき、逆に田植えの後に産卵して夏にかけて大きくなる種のカエルがいます。前者は北方系のニホンアカガエル、ヤマアカガエルなど、後者は南方系のトノサマガエル、ダルマガエルなどです。

同じ田んぼを季節によって違う種類のカエルが使い分けているのですが、田植えの時期をちゃんと知っているというのがおもしろいところです。

今回産卵したカエルは冬期湛水（ふゆみず田んぼ）している田んぼと知っていたのでしょうか。また不耕起栽培にしていますので、あせらずまた来てほしいと思います。いずれにしても、さっそく使っていたらちょっと嬉しい気持ちです。（ビオトープ管理士S野）



4 平成19年度 活動予定表

月・日・時間等	活動区分	区分
03/24(土)9:00～	木道補修, 除草, 清掃	第27回ボランティア活動
04/14(土)13:30～	あぜ道づくり, 田んぼ寄せ付け, 除草, 清掃	会員等
05/03(木)13:30～	田んぼ代かき, 除草, 清掃等	第28回ボランティア活動
05/中旬(火)10:00～	小学生田植え (正式日程は学校と調整)	3小学校の5年生
06/23(土)09:00～	田んぼ草取り, 除草, 清掃等	第29回ボランティア活動
07/28(土)09:00～	除草, 清掃等	会員等
08/下旬	北守谷まつりバザー	会員等(立沢公園)
09/15(土)09:00～	稲刈り, おだ作り, 除草, 清掃等	第30回ボランティア活動
09/中・下旬10:00～	小学生稲刈り (正式日程は学校と調整)	3小学校の5年生
09/下旬	脱穀, 初すり	会員等
10/27(土)09:00～	おだ片付け, 除草, 清掃等	第31回ボランティア活動

この日程は、状況に応じ変更する場合があります。

この日程は、基本作業の予定ですので、特別な企画やイベントについては、随時、計画・実施したいと思います。確実な日程の確認については、里山ホームページをご覧ください。

5、奥村副会長テレビ出演



NHK 茨城県域デジタル放送では、月曜日から金曜日の午前11時30分から正午まで、「まちむら発!情報スタジオ」が放送されています。その番組に、県内の自治体から生中継で地域の話をお伝えするコーナーがあり、12月の毎週火曜日に守谷市から生中継することになりました。

放送する番組は、企画から制作まで、すべて市職員や出演される市民の方の手作りです。約4分間という短い番組の中で、『守谷』の特色を最大限にPRできるように構成されていますので、ぜひご覧ください。（守谷市ホームページから）



本番に備え、熱の入ったリハーサルが行われています。（市役所内特設スタジオ）

第4週目のH18年12月26日は、守谷市民のボランティア活動が活発であることを紹介する内容でした。

その市民活動団体のひとつである「立沢里山の会」がどのような活動をおこなっているか映像を交えながら紹介するということになり、「立沢里山の会」からは奥村副会長が出演しました。

休耕田の整備として、ゴミ拾いや草刈、井戸掘り、木道の敷設を行なっていること、近隣の3つの小学校の5年生を対象に総合学習の一環として田植えや稲刈りを行なっていること、里山まつりを行なったこと、地域ぐるみの里山づくりを基本に活動していきたいことなどを話しました。